

#24 霊的な戦いの必要性和、神の民が軍隊へと、編成されて戦いのために用意を整えること(民数記結晶)2019/11/4-10

I. 私たちは霊的な戦いの必要性を認識する必要があります:

A. 霊的な戦いは、サタンの意志と神の意志の間の衝突にその源があります。これは、サタンの王国と神の王国の間の戦いです: **マタイ6:10** あなたの王国が来ますように。あなたのみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれますように。 **12:28** しかし、私が神の霊によって悪鬼どもを追い出しているのであれば、神の王国はあなたがたに臨んでいるのである。 **イザヤ14:13-14** おまえは心の中で言った、「私は天に昇ろう。私は神の星の上に、私の座を高く上げよう。私は…集会の山に座ろう。私は…高い所の上に昇ろう。私はいと高き方のようになる。」

B. 私たちは主の回復の中で戦場にいます。私たちは良き地としてのキリストを所有して神の定められた御旨を完成するために、サタンの勢力に敵対して戦い、彼らを打ち破らなければなりません。

C. 神の軍隊は、アラデの王、アモリ人の王シホン、バシヤンの王オグを打ち破りました:

1. アラデの王、アモリ人の王、バシヤンの王はヨルダン川の東の「門衛」であって、サタンのためにカナンの地、すなわち暗やみの王国を護衛していました: **a.** 神の軍隊によって打ち破られた王たちは、支配者たち、権威者たち、暗やみの世の主権者たちを表徴しています。私たちは彼らに対して奮闘しなければなりません。 **b.** イスラエルの子たちは良き地に入るために、これらの王たちが支配していた領土を通過しなければならず、彼らに対して戦い、彼らを滅ぼして、彼らの領土を占領しなければならませんでした。

2. 私たちは、キリストの計り知れない豊足を獲得するために、アラデの王、アモリ人の王シホン、バシヤンの王オグによって表徴されている霊的な敵を打ち砕き、彼らの領土を占領しなければなりません。

エペソ6:11-12 神のすべての武具を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができるためです。というのは、私たちの格闘は…支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の霊の勢力に、敵対するものだからです。

D. イスラエルの子たちがカナン人に対して戦って、良き地を所有して享受したことは、地上の目に見える光景の背後で起こっている目に見えない霊的な戦いを描写しています。それは、「天上にいるあの悪の霊の勢力」に敵対する召会の霊的な戦いを予表しています: **ダニエル10:13** しかし、ペルシャの王国の君が二十一日間、私に立ちはだかったが、第一の君の一人ミカエルが来て私を助けました。

1. 旧約の予表において、カナンには二つの面があります: **a.** 積極的な面で、豊富な地であるカナンは、すべてを含むキリストと彼の計り知れない豊足を予表しています。

b. 消極的な面で、カナンはサタンの暗やみの王国の空中の部分、天の部分を表徴しています:

(1) サタンはこの世の支配者として、また空中の権威の支配者として、彼の権威と彼の使いたちを持っており、彼の使いたちは彼の従属者、すなわち、この世の暗やみの支配、力、支配者たちです。このゆえに、サタンは彼の王国、暗やみの権威を持っています。

(2) カナン人は、サタンに従う墮落した天使たち、反逆的な天使たちを予表しており、彼らはサタンの王国の権力、支配者たち、権威となりました。 **(3)** イスラエルの子たちがカナン人に対して戦って、良き地を所有し享受することが予表しているのは、天上にいるあの悪の霊の勢力に敵対する召

会の霊的な戦いであって、それは聖徒たちがすべてを含む地としてのキリストを享受するためであるということです。

2. 神は、私たちがキリストを私たちの良き地として獲得することを願っていますが、私たちと良き地の間には、悪魔的で悪鬼的な勢力の層があります。もし私たちが良き地を所有したいなら、これらのサタンの勢力を打ち破らなければなりません。

3. 私たちが従事しなければならぬ非常に現実的な、霊的な戦いがあります。こういうわけで、召会は団体の戦士となって戦い、すべてを含むキリストを獲得して、神の王国を設立して拡大させなければなりません。それはキリストが再来して、地を受け継ぐためです。

E. 主イエスはすでに戦いに勝利を得たので、地上における召会の働きはキリストの勝利を維持することです。

ヘブル2:14 …彼ご自身も…[血と肉]にあずかられたのです。それは、彼が死を通して、死の権能を持つ者、すなわち悪魔を滅ぼすためであり。

Iヨハネ3:8 …このために、神の御子が現れました。それは、彼が悪魔のわざを破壊するためです。

コロサイ2:15 神は支配者たちや権威者たちをはぎ取り、彼らを公然とさらしものにして、そこにおいて彼らに、凱旋の中で勝ち誇られました。

1. 神の御子は悪魔のわざを破壊するために現れました。 **2.** キリストは人として、荒野で試みられたときに、サタンを打ち破りました。

3. 主イエスは死を通して、死の権能を持つ悪魔を滅ぼし、サタンを廃棄し、彼を無にもたらしめました。

4. 神は邪悪な天使たちを公然と辱め、キリストの十字架において彼らに勝ち誇りました。

5. キリストの十字架の効力は、サタンの反逆の土台を揺り動かし、サタンの地的な王国の要塞を破壊し、死とハデス[陰府]の力を征服し服従させたことでした。

6. キリストは彼の神性の霊の中で、ご自身が十字架上でサタンに勝利を得たことを、アビスにいる邪悪な霊どもに宣言しました。

7. 勝利者、勇士たちは、霊的な戦いがキリストの勝利に基づいていることを認識しています:

a. 霊的な戦いの出発点は、キリストの勝利に基づいています。 **b.** 私たちは、キリストがすでに勝利を得たことを見る必要があります。

8. 召会が地上にあるのは、サタンに対するキリストの勝利を永続させ、大きく現すためです。

F. 私たちは霊的な戦いに従事するために、からだを認識し、昇天を認識し、命の中で王として支配する必要があります。

II. 民数記27章の終わりにおいて、神の民であるイスラエル人は、軍隊へと編成されて、戦いのために用意を整えました。

A. イスラエルの子たちは新しい民となり、新しい軍隊へと編成されて、新しい神治主義を持ちました。

1. 新しい民は再び数えられ、新しい軍隊は再編成されて強化され、新しい指導者であるヨシュアが立てられて仕えました。 **2.** ヨシュアは自分自身によってではなく、祭司エレアザルと共に仕えました。エレアザルはウリムとトンミムによって、神聖な指示を受けていました。この事は、民の間に新しい神治主義があったことを意味しています。

B. 神の民は編成され、構成され、教えられ、訓練され、資格づけられた後、モアブの平原に来ました。そこにおいて彼らは、良き地に入ってそれを取って所有するために待機していました。

C. イスラエルの子たちが軍隊へと編成されて神のために戦ったことが予表するのは、新約の信者たちがキリストの有機的なからだの中へと建造されて、神のために、また神と共に戦って、神のエコノミーを遂行するという事です。**エペソ6:11-12** 神のすべての武具を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができますためです。というのは、私たちの格闘は血肉に敵対するものではなく、支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の霊の勢力に、敵対するものだからです。 **木**

D. ヨシュアとカレブを除いて、良き地を所有するように資格づけられ、その用意ができていたのは若い人たちでした：**申1:35-39** 『この悪い世代の、これらの者で、私があるあなたがたの父祖たちに与えると誓ったその良き地を見る者は一人もない。ただ、エフネの子カレブ…[と]ヌンの子ヨシュアは別である』。…さらに、あなたがたが捕虜になると言ったあなたがたの幼い者たち、…あなたがたの子供たちが、そこに入る。私は彼らにそれを与える。彼らはそれを所有する。

1. 第二世代は、第一世代ほど多くの事を経過しませんでした。彼らは第一世代が経験した事の益を受けました。

2. おそらく年長の世代は、自分たちが経験し、享受し、苦しんだすべてについて若い世代に語ったのでしょう。この語りかけは第二世代を起こすことの一部でした。

3. 年長の人たちが経験した事は、若い人たちを建て上げることに効力がありました。ですから、神は、豊かに受け継いだものと強い背景とを持った六十万人以上の人たちを第二世代から用意することができたのです。彼らは、軍隊へと編成されて神の王国のために戦うよう資格づけられていました。

4. 原則は今日、主の回復の中にいる私たちについても同じです。年長の人たちが経験してきた事は、若い人たちに渡されつつあり、そして彼らを建て上げることに効力があります。非常に効力があるようになります。 **金**

E. 私たちが民数記31:13~54において見るのは、軍隊へと編成されて戦いのために用意を整えた神の民の間にある一つ思いの美しい絵です：

1. それぞれの部類の民の間にある状況全体は、平安に満ちており、喜ばしく、調和がありました。なぜなら、彼らはみな一つ思いの中にいたからです。**使徒1:14** これらの人はみな、婦人たち、イエスの母マリア、イエスの兄弟たちと共に、一つ思いでひたすら祈り続けていた。

2. 召会の中の真の一つ思いは、からだの一の実行、すなわち、その霊の一の実行です：**エペソ4:3-4** 平和の結合するさすななの中で、その霊の一本を保つことを熱心に努めなさい。一つからだ一つ霊…。a. 「一つ思い」は、私たちの内なる存在、すなわち、私たちの思いと意志の中の調和を指しています。b. 一つ思いの中にいることは、私たちの全存在において一であることです。この事の結果は、私たちが外側の語りかけにおいて一であるということです。

ローマ15:6 それは、あなたがたが一つ思いをもって、一つの口で、私たちの主イエス・キリストの神また父に栄光を帰すためです。c. 私たちは一つ思いの中にいるために、一つの心と一つの道を持つ必要があります。この一つの心と一つの道が、一つ思いです。

d. すべての召会は主の行動のために、一つ思いの中にいる必要があります。私たちはみな同じ事を語り、同じ事についてラッパを吹き鳴らし、同じ事を教え、実行において同じであるべきです。

F. 神の神聖な三一における神の祝福の下で、また神の人であるモーセの祝福の下で、神の軍隊は良き地を取る用意を整えており、またその準備ができていました。 **土**

Crucial Point(1):神の意志に服従して、霊的戦いを戦う
OL1: 私たちは霊的な戦いの必要性を認識する必要があります。

OL2: 霊的な戦いは、サタンの意志と神の意志の間の衝突にその源があります。これは、サタンの王国と神の王国の間の戦いです。

OL3: 私たちは主の回復の中で戦場にあります。私たちは良き地としてのキリストを所有して神の定められた御旨を完成するために、サタンの勢力に敵対して戦い、彼らを打ち破らなければなりません。

歴史を通じて、国家、集団、人民、個人の内側でさえ、戦いがあります。例えば、あなたは自分の理性と情欲の間の内なる戦いを経験するかもしれません。さまざまな種類の戦いはすべて、神の意志とサタンの意志の間の論争にその源があります。

神は彼の偉大さにおいて、人に選択の自由を与えられました。…極めて重要な問題は、人が神の意志を選ぶか、それともサタンの意志を選ぶかということでした。もし人の意志が神の意志と共に立ったなら、神の意志は達成されたでしょう。しかし、もし人の意志がサタンの意志の側についたなら、少なくとも一時的に、サタンの意志が遂行されたでしょう。私たちがみな知っているように、人の意志はサタンの意志の側につきました。これは、人がサタンに従うことを選び、サタンの意志の側についたことを意味します。ですから、サタンは一時的に勝利しました。

しかしながら、悔い改めを通して、人はサタンの意志から神の意志へ立ち返り、サタンの側から神の側に立ち返ることができます。福音における第一の命令は、悔い改めることです。次の二つの命令は、信じることとバプテスマされることです。救われることを願うどの罪人も、これら三つの命令に従わなければなりません。人は神に対して悔い改め、主イエスを信じ、水の中にバプテスマされなければなりません。悔い改めるとは、サタンの意志から神の意志に立ち返ることです。

私たちは今日の主の回復の中で戦場にあります。私たちは今日のヨシュアとカレブとなって、サタンの空中の勢力と戦うべきです。それは、私たちがさらに多くキリストを獲得してキリストのからだを建造し、神の王国を設立し拡大し、キリストが戻って来て、地を受け継ぐことができるためです。

適用:新人編

ヨハネ 3:5 イエスは答えられた、「まことに、まことに、私はあなたに言う。人は水と霊から生まれなければ、神の王国に入ることはできない。バプテスマを通して、神はあなたをサタンの王国から神の王国に移してくださいます。このことは、人はサタンの王国か神の王国のどちらかに属しており、中間の人自身の王国というものはないことを示しています。救われる前、人は善人であれ悪人であれ、お金持ちであれ貧しい人であれ、皆サタンの王国の中で苦しんでいました。福音を聞いて悔い改め、主を信じバプテスマされて、あなたは神の王国に移されました。しかしあなたはさらに豊かに王国に入る必要があります。

Ⅱペテロ1:11 このようにして、あなたがたは豊かに、あふれるばかりに供給されて、私たちの主また救い主イエス・キリストの永遠の王国へと入るのです。このことはあなたがバプテスマされて神の王国に入った後、召会生活の中であなたの内側のキリストが成長することによって、神の王国に豊かに入国する必要があることを示しています。

神の王国に豊かに入国することにおいて、自分の意志をサタンの権威に服させるのではなく、神の権威に服させる必要があります。先にも述べましたが、あなた自身の中間の王国はありません。あなたの意志はサタンに聞き従うか、神に聞き従うかのどちらかです。サタンに服する時、一見それは良さそうでも、その結果は暗闇と死です。神に服する時、一見それは難しそうでも光と命に満たされます。[ヘブル10:25](#) ある人たちが習慣としてるように、私たち自身の集會を放棄してはいけません。むしろ、互いに勧め合いましょう。かの日が近づいているのを見ているのですから、ますますそうしようではありませんか。

新人の皆さんの家庭集會、小組集會、主日集會はあなた自身の集會です。会社に勤めていると、「オーナーシップ(当事者意識)を持って主体的に業務に取り組むようにしなければ、良い結果をもたらすことができず、ビジネス・パースンとしても成長できない」と指導されます。同様に各種集會を自分自身の集會と考えると、当事者意識を持たなければなりません。そのためには、靈的戦いを戦って、自分の意志を神に服させ、積極的に集會で機能する必要があります。「体が疲れているので集會を休みたい」、「集會に行っても会社の業績や学校の成績が上がるわけではないので休んだ方がいい」、「集會に行くより遊びたい」などのサタンのささやきに従うのではなく、集會で兄弟姉妹と共に主を享受し、主を供給し合ってください。

祈り:「おお主イエスよ、私をサタンの王国から神の王国へ移して下さったことを感謝します。召會生活の中で内側のキリストを成長させ、さらに豊かに神の王国へと入ることができますように。そのために私は自分の意志をもって神に服し、サタンに敵対して靈的戦いを戦います。集會を自分自身のものと考え、オーナーシップをもって積極的に機能を果たします」。

Crucial Point(2):勝利の主と結合し、からだの中で祈り、人の背後で働く邪悪な勢力に敵対して靈的戦いを戦う

OL1:主イエスはすでに戦いに勝利を得たので、地上における召會の働きはキリストの勝利を維持することです。

OL2:私たちは靈的な戦いに従事するために、からだを認識し、昇天を認識し、命の中で王として支配する必要があります。

OL3:イスラエルの子たちが軍隊へと編成されて神のために戦ったことが予表するのは、新約の信者たちがキリストの有機的なからだの中へと建造されて、神のために、また神と共に戦って、神のエコノミーを遂行するということです。

靈的な戦いは、攻撃するものではなく、防御するものです。なぜなら、主イエスはすでに戦いに勝利を得られたからです。…主はすでに戦いに勝利を得られたので、召會はここで彼の勝利を維持します。…強い人はすでに縛られています。召會の働きは、彼を自由にさせないことです。攻撃の必要はありません。守るだけで十分です。靈的な戦いの開始点は、キリストの勝利の上に立つことです。それはキリストがすでに勝利を得たことを見ることです。それはサタンを対処することではなく、主に信頼することです。それは私たちが勝利を得るのを望むことではありません。なぜなら、勝利はすでに得られているからです。悪魔は何もすることができません。召會の働きと責任は、靈的な戦いです。それは、神の権威とサタンの権力との間の衝突の事柄です。

もし私たちが座り、消極的に待っているなら、主イエスは自動的に来る[のではありません]。…私たちはキリストのからだとして、神と共に働くことを学ばなければ

なりません。私たちは救われるだけで十分であると決して思ってはなりません。そうではありません。私たちは神の必要に関心を持たなければなりません。

戦うことは、からだの事柄です。私たちは共に建造されなければなりません。私たちは生けるからだ、生ける建物、生ける神の家として、一の中に、調和の中になければなりません。そうすれば、私たちは軍隊となることができます。…戦いはからだからのものです。それはキリストの中に、その靈の中に、天的な場所にあります。

真の敵は人ではありません。真の敵は人の背後にいる邪悪な勢力です。人は、敵に利用されている敵の操り人形にすぎません。私たちは人と戦うべきではありません。彼らの背後にいる邪悪な勢力と戦うべきです。邪悪な勢力と戦う方法は、肉によってではなく、その靈によって、その靈の中で、祈りによってです。私たちが、ある人たちの背後で働き、戦っている敵を対処することのできる唯一の方法は、祈ることであり、最高の権威としての天の御座に訴えることです。ですから、真の、優勢な団体の祈りが必要なのです。召會は、共に集まって人を対処するのではなく、祈る必要があります。うわさがあるときはいつでも、私たちが直接それを対処すべきでないという学課を、私は学びました。…私たちは人に事を話したり、説明したりすべきではありません。…私たちはただ主に行って、最高の権威に訴えるべきです。御座を通して、私たちは血肉の背後にいる邪悪な勢力を対処します。

適用:青年在職・大学院生編

クリスチャン生活と召會生活は靈的な戦いです。あなたは「戦いは疲れるので戦いたくない」と言うてはいけません。あなたが戦いたくなくても、あなたは既に戦場にいるのです。サタンは特にあなたが召會建造にやる気になった時、あなたを必死になって攻撃してきます。しかし主を賛美します。私たちの戦いはキリストの勝利の中に立って抵抗し、キリストの勝利を継続させるだけです。

エペソ 6:10 最後に、主の中で、また彼の力強い大能の中で力づけられなさい。11 神のすべての武具を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができるためです。12 というのは、私たちの格闘は血肉に敵対するものではなく、支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の靈の勢力に、敵対するものだからです。13 こういうわけで、神のすべての武具を取りなさい。それは、あなたがたが邪悪な日にあって抵抗することができ、またすべてのことをやり抜いた後も、なお立つことができるためです。

あなたが戦わなければサタンの餌食になってしまい、この世の潮流に流されて墮落した生活を強いられます。しかし主の中で勇気を振り絞って、主の勝利を取るなら、主はあなたを勝利から勝利へと導かれます。この戦いは、戦いではあっても、最初から勝敗は決まっておき、あなたはただ主の勝利を取って抵抗し、主の勝利を継続させるだけです。またあなたはこの戦いをからだの中で戦ってください。戦いの秘訣は、「主の中」と「召會生活の中」と「バイタル・パートナーと共に」です。ですからあなたは決して召會生活から離れてはいけません。さらに必ずバイタル・パートナーを持って祈りのグループを実行してください。若いビジネス・パースンあるいは研究者であるあなたは、実際の状況でサタンからの攻撃を感じたら、すぐに戦う祈りをしてください。例えば、「飲み会に頻繁に参加しないと干されてしまう」、「集會に出たら仕事や研究が遅れてしまう」、「クリスチャンの信仰を持っていることが知られると偏見を持たれる」などとサタンはあなたにささやいて、

信仰を持って戦わないように誘惑します。主の勝利を提示するとサタンは逃げるしかないので、サタンは人を騙すことしかできないのです。サタンの欺く策略に敵対し、霊を活用してパートナーと共に戦う祈りをしてください。

祈り:「おお主イエスよ、サタンは様々な策略を用いて騙す方法で脅してきますが、主は既に勝利されています。戦わなければサタンの餌食になってしまうだけなので、からだの中で、パートナーと共にサタンに敵対し、主の勝利を宣言し、召会生活を勝ち取ります。また福音を伝えて、強い者サタンを縛り、サタンの家の家財である福音友人を神の建造のために奪い返します」。

Crucial Point(3):信仰によって達成された一を取り、2、3人が一つ思いを持って、戦う祈りをする

OL1:召会の中の真の一つ思いは、からだの一の実行、すなわち、その霊の一の実行です。「一つ思い」は、私たちの内なる存在、すなわち、私たちの思いと意志の中の調和を指しています。

OL2:一つ思いの中にいることは、私たちの全存在において一であることです。この事の結果は、私たちが外側の語りかけにおいて一であるということです。

OL3:すべての召会は主の行動のために、一つ思いの中にいる必要があります。私たちはみな同じ事を語り、同じ事についてラッパを吹き鳴らし、同じ事を教え、実行において同じであるべきです。

私たちは困難を経過すればするほど、ますます主にとって有用になります。…神の選ばれ贖われた民は、さまざまな種類の挫折を耐え忍ぶ必要がありました。これらすべての事の結果として、神の民は神の約束された地を所有するように用意されました。

私たちが持っている一は、達成された一、その霊の一です。私たちはみな自分の「銀行口座」、すなわち、私たちの霊の中にその霊を持っています。…しかし、私たちは…「一という小切手」を書かないかもしれません。なぜなら、私たちは霊の中にとどまっていられないからです。それどころか、私たちは思いの中にとどまっているかもしれません。一人の兄弟が祈る時、私たちは思いの中で、その兄弟の祈りは真実なものであるかどうか、彼の祈りの中に隠れた意図があるかどうかを識別しているかもしれません。こういうわけで、私たちは彼の祈りにアーメンと言わないかもしれません。そのような状況において、一の実行はありません。一つ思いは実は、一を用いること、すなわち私たちの持っているものを用いることです。

詩 133:1 見よ、何とすばらしく、何と喜ばしいことであろう。兄弟たちが和合して住んでいる！ **2** それは、頭に注がれた尊い油が髭に、アロンの髭に流れ下り、彼の衣のすそに流れ下るようだ。 **3** また、ヘルモンの露がシオンの山々に下って来るようだ。まことに、エホバはそこに祝福を命じられた。すなわち命を永遠まで。

適用: 青少年・大学生編

神の民は困難を通して成就されます。このことは、受験勉強や人間関係の困難などは、あなたが成就されるために必要であるということです。学生の兄弟姉妹はこのことを理解して、困難にくじけず、立ち向かって戦ってください。この戦いときに重要なことは、神の軍隊へと編成されるということです。編成された軍隊にとって重要なことは、信仰によって主が達成して下さった一を取り、一つ霊、一つ心、一つ思いを持って同じ事を祈り、語ることです。実際的にからだの生活を実行するために、以下のメッセージを読んでください。

あなたは主を追い求めることにおいて、自分には真の仲

間があるかどうかを主の御前で考えなければなりません。ヨシアは、カレブが自分の仲間であると言うことができ、カレブは、ヨシアが自分の仲間である言うことができました。あなたは、「純粋な心で主を呼び求める人たち」を必要とします。(LMA#6)

あなたは自分自身やパートナーあるいは顧みている人たちが困難に面したとき、二、三人でサタンに敵対して戦う祈りをしてください。例えば、「いじめに遭う」、「勉強のやる気が出ないので成績が上がらない」、「ゲームに没頭してしまい勉強に集中できない」、「宿題が終わっていないので学校に行きたくなり、不登校の癖がついてしまった」などの問題に出くわした時、これらの人、事、物の背後で働いているサタンを縛り、サタンによって縛られている人を解放するように祈ってください。さらにサタンはあなたの肉の中にも住んでいるので、あなたを不信仰へと誘惑します。あなたはパートナーと共に一つ思いで祈ることで、背後で働くサタンとあなたの肉の中で働くサタンに敵対して立つことができます。ある状況は祈りによってすぐに改善します。また別の状況は忍耐を持って祈り続けなければなりません。

また祈りの集会での祈りやパートナーとの祈りにおいて、あなたは主が既に達成して下さった一を用いて、一つ思いで祈ることを訓練してください。例えばある兄弟姉妹が主から靈感を受けて、「福音を伝えましょう」と交わったり祈ったりする時、あなたは色々考えて福音を伝えなくてもいい理由を探したり、この人は本当に霊の中で祈っているのかと考へたりしてはいけません。あなたが行うべきことは、一つ思いを用いて、「アーメン！福音を伝えることは主が私たちに託して下さった唯一の委託です。出て行って福音を伝えます」と祈ることです。そうすれば一つ思いの中で聖霊がさらに流れるようになり、祝福されます。

祈り:「おお主イエスよ、私は神の軍隊である召会と一つになり、祈ってサタンを縛ります。そのために召会生活の中に留まり、霊的なパートナーを持ちます。霊的パートナーとの交わりと祈りを主は聞いてくださいます。勉強や人間関係における困難を、パートナーとの祈りを通して突破することができますように。アーメン！」

人生の奥義(2)

私たちの取るべき態度(3):『向きを変える(立ち返る)』

A.「悔い改めよ、天の王国は近づいたからだ」悔い改めるとは、思いを変え、その結果、悔いて、目標を変えることです。…私たちは悔い改め、私たちの思いを変え、私たちの人生の追求に変化を持つべきです。私たちが追い求めていた目標は、別の事でした。今や私たちは、神とその王国に向きを変えなければなりません(マタイ 3:2 と FN1、2)。

B.「立ち返らず、私が彼らをいやすことがないためである」(マタイ 13:15 後半)。

C.「地の果てのすべての者よ、私に向きを変え、救われよ、私は神であって、ほかにはいないからだ」(イザヤ 45:22)。

D.「そしてあなたがたに福音を宣べ伝えて、あなたがたがこうしたむなしき事から、天と地と海とその中のすべての物とを造られた生ける神に、立ち返るようにしています」(使徒 14:15 後半)。

E.「あなたがたがどのように偶像から神に向きを変えて、生けるまことの神に仕えるようになったのか」(1テサロニケ 1:9 後半)。

F.「暗やみから光へ、サタンの権威から神に立ち返らせるのである」(使徒 26:18 前半)。

G.「あなたがたの罪がぬぐい去られるために、悔い改めて立ち返りなさい。それは、新鮮にする時季が主の御前から来て」(使徒 3:19-20 前半)。